

学校校舎の耐震化について

(2010.4.20)

4月16日、鳩山総理は、閣僚懇談会で、公立小中学校の耐震化や老朽化対策の工事促進を、川端文部科学大臣、菅財務大臣に指示しました。この方針は、私、辻泰弘が、1月27日の予算委員会の総括質疑で総理から得た「辻委員の仰せの通りに努力したい」との答弁に端を発し、3月24日の同委員会の締めくくり総括質疑で総理から引き出した極めて前向きな答弁により決定づけられたものです。前日4月15日には、首相公邸で予算委員会のメンバーと総理との懇談会がもたれましたが、そこで翌日の方針を伺い、総理に何度もお礼を申し上げたところ、翌朝に総理と会った側近に「昨夜は辻氏が5回もお礼を言った」と話されたとのこと。数えていたんだ！ 今後は地方自治体の対応が求められます。ともかく良かった!!

公立学校施設の耐震化等への対応の検討についての鳩山総理大臣発言（抜粋）

「公立学校施設の耐震化及び老朽化対策事業については、子どもたちの安全・安心の確保のためにも重要であり、これらの事業の多くが夏休みに行われることから、工事日程を勘案し、適切に対応する必要がある。…このような状況を踏まえ、公立学校施設の耐震化及び老朽化対策事業について、文部科学大臣におかれては、財務大臣と調整しながら、22年度予算の速やかな執行に努めるとともに、地方公共団体のニーズや検討状況を踏まえて早急に対応できるよう、予備費の活用も視野に入れた検討を始めていただきたい。」（4月16日 閣僚懇談会）

◎ 参議院予算委員会における平成21年度補正予算に対する総括質疑（1月27日）

辻 泰弘：22年度予算に計上されている1兆円の経済危機対応・地域活性化予備費の用途には、国民生活の安定に資するものとして公立文教施設整備費が予定され、学校耐震化の費用も対象になっている。22年度予算成立後、速やかに予備費からの歳出で耐震化に取り組んで欲しい。

鳩山 総理大臣：辻委員の大変強い意向なので、この予備費1兆円を貴重に使いたい。子供の命の重要性は十分に認識している。大変重要な案件だ。辻委員の仰せの通りに努力していきたい。

◎ 参議院予算委員会における平成22年度予算に対する締めくくり総括質疑（3月24日）

辻 泰弘：予算成立後、速やかに1兆円の経済危機対応・地域活性化予備費を使い、地方の要望に沿った耐震化・老朽化対策を決定して欲しい。夏休みの工事には4月中の方針決定が不可欠。

鳩山 総理大臣：当初の2200棟に2800棟追加で5000棟を実現したい。予備費の使用には、国会中使えぬ、補正予算で、などの議論あり難しいが、最終的に辻委員の目標値実現に努める。

辻 泰弘：超党派的な支持、地方の支持もある。総理の意を受けて政治主導で実現して頂きたい。

菅 財務大臣：総理の趣旨に沿えるよう財務省として検討し、総理の指示を実現する方向で頑張る。